建築設計計画学 (Architechtural Design and Planning)

専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
環境建設	選択	2 年後	2	講義	古田健一

【授業の概要】
本科で履修した建築計画の知識をもとに、計画各論的な位置付けだけでなく、まちづくりを意図した建築設計計画について学ぶ。具体的には、建築と生活および建築と生産の関係から住まいとまちの構成原理を学習する。さらに、計画のための調査研究の手法や、既往の建築計画学の成果である寸法計画、規模計画、地域計画などの原則を理解した上で、それを応用した具体的な建築作品について考察をする。また、設計や生産計画、維持管理計画に関する新たな知見についても学ぶことで将来の実務に役立つ知識を修得する。

【学修の進め方】
講義形式で授業を行う。レポート演習課題を発表形式で２回行う。学習シートは毎回の授業の理解した内容を確認するために使用する。

【授業計画】	【授業項目】	【内　容】
1 回	建築計画の構成	建築計画のプロセスと建築計画学の位置付けを把握する。(学習シート#01)
2 回	空間の計画	設計作業の構造を理解し、空間計画の作業段階を学ぶ。(学習シート#02)
3 回	架構とシェルター	建物を支える架構と、建物内外を仕切る被膜で形成される住宅の設計手法について学ぶ。(学習シート#03)
4 回	計画と表現	プレゼンテーションとデザインの手法について学ぶ。(学習シート#04)
5 回	計画における評価	計画・設計プロセスにおける評価の局面について学ぶ。(学習シート#05)
6 回	計画と生産	計画と生産を結びつける技術・手法について学ぶ。(学習シート#06)
7 回	プレハブ住宅の開発プロセスと計画	プレハブ住宅開発の諸段階における計画について学ぶ。(学習シート#07)
8 回	障害者の立場に立った設計	障害者の立場に立つことの理解のために設計例について学ぶ。(学習シート#08)
9 回	教師の参加による学校づくり	計画・設計プロセスと教師の参加の設計例について学ぶ。(学習シート#09)
10 回	パタンランゲージとセンタリングプロセスの実践	パタンランゲージによる学校建築設計例について学ぶ。(学習シート#10)
11 回	機能と人間性の調和	地域医療システムの中の病院計画の設計例を学ぶ。(学習シート#11)
12 回	コンペ方式による市民会館の設計	コンペ方式の設計事例について学ぶ。(学習シート#12)
13 回	インテリジェントビルの設計計画	高機能な事務所ビルの設計例について学ぶ。(学習シート#13)
14 回	住民参加による街づくり	ワークショップなどによる街づくりへの住民参加のあり方について学ぶ。(学習シート#14)
15 回	期末試験	住まいとまちの構成原理、建築計画の方法論、計画と建築計画の手法や生産・評価に関する知識の理解の程度を確認する出題。
16 回	まとめ	答案解説講義とアンケートの実施。

【到達目標】	住まいとまちの構成原理、建築計画の方法論、計画と生産に関する知識を修得すること、有名建築家の作品構成原理を知ることを目標とする。		
【徳山高専学習・教育目標】	C1	【JABEE 基準 1(1)】	d-2a
【評価法】	演習レポート (20%)、試験 (80%) により総合評価する。 最終評価点＝試験得点（100 点満点）× 0.8 ＋演習レポート（10 点満点× 2 回）		
【テキスト】	建築計画教科書研究会編著「建築計画教科書」(彰国社)		
【関連科目】	住宅計画学 (専攻科 1 年)		
【成績欄】	前期中間試験　前期末試験　前期成績　後期中間試験　後期末試験　学年末成績 【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】		